

## X-ray bright points observed with HINODE XRT

# 古徳 純一 [1]; 鹿野 良平 [2]; 坂尾 太郎 [3]; 「ひので」XRT チーム 坂尾太郎 [4]  
# Jun'ichi Kotoku[1]; Ryouhei Kano[2]; Taro Sakao[3]; Sakao Taro Hinode XRT team[4]

[1] 国立天文台 SOLAR-B 推進室; [2] 国立天文台; [3] 宇宙研; [4] -  
[1] Solar-B Project Office,  
National Astronomical Observatory of Japan; [2] NAOJ; [3] ISAS/JAXA; [4] -

太陽の静穏領域にしばしばみられる X 線ブライtpoint は、  
コロナ加熱の原因と考えられる小規模の加熱源のひとつである。  
これまで、そのメカニズムは、フレア現象の小規模版と考えられてきたが、  
ブライtpoint の構造を詳細に明らかにするほどの、  
X 線による分解能の良い観測は、今まで存在しておらず、  
仮説の域を出なかった。

今回、我々は 2006 年 9 月に打ち上げられた、ひので衛星搭載の  
X 線望遠鏡 (XRT) を用いて、X 線ブライtpoint の観測を行った。  
XRT は、ようこう軟 X 線望遠鏡 (SXT) に比べて、高分解能 (~3 倍) であり  
より低温 (~100 万度) まで感度を持つので、X 線 bright point の観測に  
最適である。  
XRT の高分解能により、X 線 bright point の構造がループ状、  
またはカスプ状になっている姿をとらえることができた。  
本講演では、「ひので」衛星を用いた、  
これら X 線ブライtpoint の観測結果について報告する。